

PLUG アンケートへの回答

衆議院議員 津村 啓介

(問) 政治家を志された最も大きな理由を御教え下さい。

(答) 留学、人事への不満、失恋、祖母の死、そして幾つかの出会い。ほんの1～2年の間に色んな出来事が重なり、自分の将来について、迷い、悩む毎日が続いていました。30歳という節目を迎え、一度しかない人生、悔いなく生きたいと思い、小さい頃から気になっていた政治の世界に飛び込みました。

(問) 国会議員としていま最も力を入れていることを御教え下さい。

(答) 新しい政治のしくみを作ること。そのために、①政治主導を霞ヶ関に定着させること、②新しい陳情ルールを岡山県に根付かせること、③民主党支持者以外の人とも分け隔てなく付き合うこと、この3つにこだわっています。国家戦略室の政務官としては、予算編成プロセスの透明化とデフレ克服（景気回復）が最大の使命です。

(問) 「政治」を何か他の言葉に置き換えてください。

(答) 冷徹な目で現実を見つめ、熱い心で理想を思い描き、その果てしないギャップにうろたえずあきらめない、知恵と工夫と、もがき苦しみ・・・かな。難しい質問ですね。政治家になって以来、ずっとこの答えを探し続けているような気がします。

(問) 「政治家」を分かりやすく説明するならばどのような職業だと伝えますか。

(答) 人と人をつなぐ人。より多くのことを「語る」のではなく、より多くのことを「聞く」ことが求められる職業。人と関わることに喜びを感じ、何事もあきらめることが嫌いな人たち・・・、でもあるかな。

(問) 国会議員になってから涙を流したことはありますか。あれば具体的に御教え下さい。

(答) これは欠点ですが、私はよく涙を流します。映画を観て泣くこともあれば、人の話を聞いて感極まることもしょっちゅうあります。最近では、西大寺会陽（はだか祭り）で枝宝木（えだしんぎ）を獲り、感激してしまいました。しかし、政治家に涙は禁物。もう少しクールになろうと思っています。

(問) 理想とする日本とはどのような国でしょうか (なるべく具体的にお願いします)。

(答) 全ての国民が健康で長生きができ、それぞれの居場所と出番を持ちながら、この国と世界がこれからも平和であり続けると確信できる社会ができれば、とても幸せなことだと思います。

(問) 上記の理想に向かっていく中で、世界の中からモデルとなる都市や国、または参考となる制度や条例はありますか。

(答) イギリスです。経済成長が頭打ちになり、「世界の工場」の地位をアメリカやドイツにゆずってからも、文化、芸術、そして金融の力で世界に貢献し、低成長下の国家モデルを提示しつづけてきました。日本は経済成長の面で中国に追いつかれつつありますが、地球温暖化対策、少子高齢化対策などの知恵と工夫で、新しい国家像を示していけるとと思います。

(問) 理想とする岡山県とはどのような県でしょうか (なるべく具体的にお願いします)。

(答) せっかく美味しい食べ物と、自然と天候に恵まれているのだから、大勢の人に岡山に来てほしいと思います。

(問) 上記の理想に向かっていく中で、世界の中からモデルとなる都市や国、または参考となる制度や条例はありますか。

(答) 今のままの岡山県でも、十分に魅力があると思います。あとは PR かな。僕たち政治家も一役買いたいと思います。

(問) 岡山 (特にご自身の選挙区内) で最も好きな場所はどこですか。何故好きなのかという理由やエピソードもあればお願い致します。

(答) 津山の「お城山」が好きです。小さい頃、おじいちゃんによく連れて行ってもらいました。お城山で書いた石垣のスケッチが、学校で褒められた時は嬉しかったです。大人になって訪れても、雄大なスケールは変わりません。桜の季節はまさに圧巻。故郷の自慢です!

(問) 岡山の良いところと悪いところをそれぞれ挙げてください。また悪いところは今後どのように改善していくべきかを御教え下さい。

(答) 良いところは、人がおっとりとして、優しいところ。晴れの日が多く、自然に恵まれてきた岡山ならではだと自負しています。悪いところは、あんまり思いつきません。おっとりしすぎて、欲がなさすぎるころかな。

(問) 人生の中で一番大切にされていることを御教え下さい。

(答) 目標を持つこと。夢と言ってもいいけれど、あまり遠く感じたくないなので、あえて目標と呼びたいです。

(問) 生きているうちにこれだけはやり遂げたいということを御教え下さい。

(答) 難しい質問ですね。今はまだ、その時その時を悔いなく生きることです。でも、この答えが見つかったら、全力を注いで必ずやりとげたいですね。意外と仕事ではなく、結婚して、子どもを作って、大人になるまで育てあげる。。とか、そういうことかも知れません。

(問) フラグ世代（岡山で働く 25 歳～35 歳）の読者にメッセージをお願いします。

(答) せっかく、同じ時代に生き、同じ故郷を持つことから、限られた人生の中、少しでも多く関わっていきたいし、刺激を与え合っていきたいです。

以 上